

東地区の未来

「まちづくり会議」で意見交換してきた、目指す方向性や課題を紹介します。

まちなか高専構想で目指す未来



多様な市民や若者が集い、学び、
新たなチャレンジや価値を生み出す場所へ



課題① まちなかのにぎわい

空き家や駐車場など、十分に利用されていない土地を利活用し、新たなにぎわいを生み出すことが必要



課題② 居心地の良いまち

まちなかでの交流の機会が減少。多世代がまちなかに集い、交流できる機会が必要



課題③ 移動しやすいまちづくり

生活道路を通行する車両が非常に多く危ないため、人や車がスムーズに移動できる道路などの整備が必要



課題④ 人材育成

若者が進学や就職を機に市外へ流出し、人材不足が深刻に。地域を支える人材の育成が必要



東地区まちづくりワークショップを開催します！

まちなかに舞鶴高専のキャンパスが誕生したら、どんな機能や取り組みがあると魅力的でしょうか。今回のワークショップでは「まちづくり会議」での議論や高専生が事前に考案したアイデアを紹介しながら、皆さんと共にこれからのまちづくりを考えていきます。

日時 第1回 9月26日(土) 10時～12時
第2回 10月18日(日) 13時30分～15時30分
第3回 11月28日(土) 10時～12時

場所 Coworkation Village MAIZURU (赤れんが3号棟)

対象 全3回参加できる人 **定員** 先着10人

その他 市内高校生や高専生も参加予定

申し込み方法 9月11日(金)～24日(木)に申し込みフォームで都市計画課(☎66・1048)へ。右コードからアクセス可。



皆さんのアイデアが、東地区の未来をつくる！



高専生からのメッセージ

私たちは、授業の中で「研究施設としてのキャンパス」をコンセプトに「まちなか高専構想」の提案に取り組みました。



舞鶴市の特色を取り入れながら、学生目線の「あったらいいな」を生かしたさまざまな施策を考えています。
ワークショップでぜひ一緒にアイデアを広げていきましょう！



舞鶴市は、人口減少や空き家の増加といった課題を抱えています。これらの課題などに対する新たな取り組みとして「舞鶴まちなか高専構想」がスタートしました。今年度は、学生と地域が交わる新たなにぎわい創出を目指し、まちの未来を描くビジョンを策定します。《都市計画課》

◆東地区のまちなかの現状

東地区は、1901年の舞鶴鎮守府開庁以来、赤れんが倉庫群などをはじめとする軍港都市の歴史とともに発展してきました。現在は赤れんがパークに多くの観光客が訪れ、にぎわいをみせる一方、駅周辺のまちなかでは人口減少が進み、空き家やシャッター街化が課題となっています。

◆まちに流れを生み出す「舞鶴まちなか高専構想」

これらの課題解決に向け、舞鶴市は、懇話会などで検討を重ね、令和8年2月に舞鶴工業高等学校と「舞鶴まちなか高専構想」に関する覚書を締結しました。これは、東地区のまちなかに舞鶴高専の一部の機能を移し、同校を軸としたまちづくりを進めることで、学生と地域が共に集いつながること、新しいにぎわいと活力を創出します。

◆舞鶴高専と共に進める理由

同校は、半世紀以上にわたり、舞鶴のものづくりや産業発展に貢献してきました。同校の学生がまちなかで学び、暮らす姿は、まちの活気だけでなく、地域の子ども達が多様な学びに触れるきっかけとなることも期待されています。だからこそ、共に未来を切り開く大きな意味があります。現在、官民学のメンバーで構成される「まちづくり会議」では「舞鶴まちなか高専構想」を軸に「東地区まちづくりビジョン」の基本方針の検討を進めています。今後は、市民の皆さんの声も取り入れながらビジョンを策定していきます。

